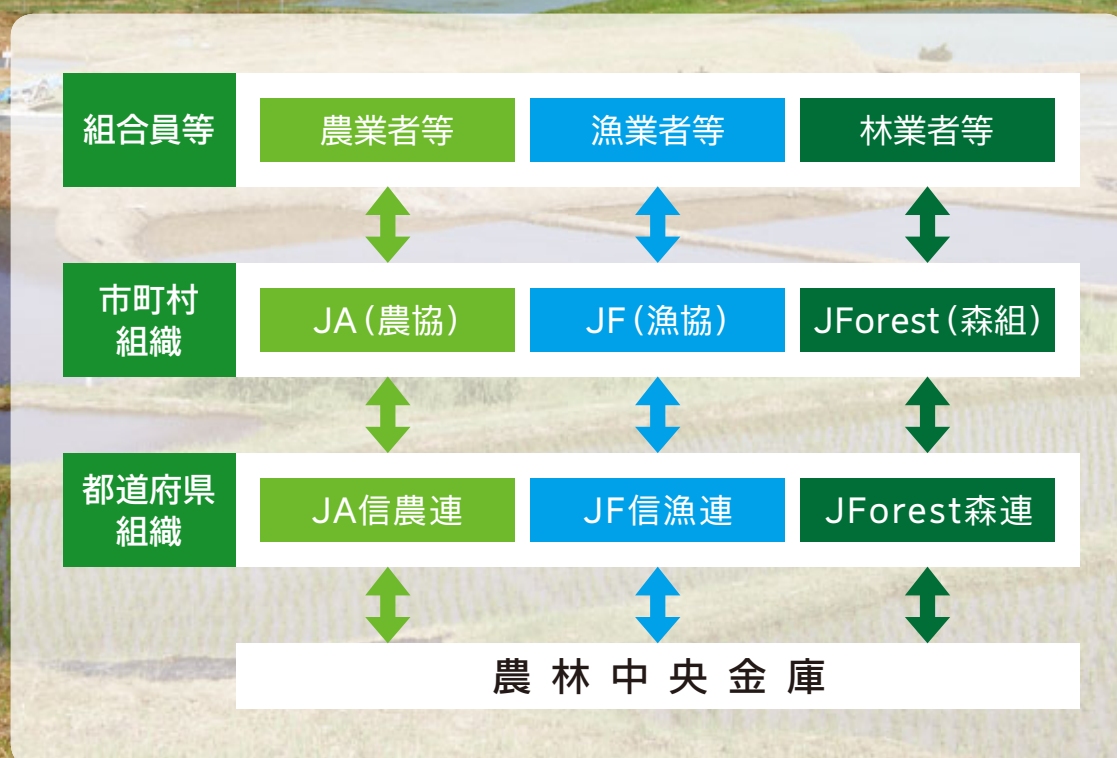


# 農林水産業と食と地域のくらしを支える リーディングバンク

私たち農林中央金庫の使命、それは  
JAバンク・JFマリンバンク・JForestグループの全国機関として  
農林水産業をしっかりと支えていくこと。  
ひいては日本に暮らすすべてのみなさまのために、  
食の発展や地域のくらしに貢献すること。

国内有数の機関投資家として  
グローバルな投資活動による安定収益の確保も、  
私たちの使命を果たすための重要な活動です。

農林中央金庫は  
変化を恐れず、変わらぬ使命を追求し、  
これからも挑戦し続けてまいります。





## プロフィール

- 名称 ■ 農林中央金庫  
(英文名称: The Norinchukin Bank)
- 根拠法 ■ 農林中央金庫法  
(平成13年法律第93号)
- 設立年月日 ■ 大正12(1923)年12月20日
- 経営管理委員会会長 ■ なかがや としひろ 中家 徹
- 代表理事理事長 ■ おく かずと 奥 和登
- 資本金 ■ 3兆4,804億円 (平成30年3月31日現在)  
● 出資は、会員および優先出資者から受け入れています。
- 連結総資産額 ■ 104兆9,277億円 (平成30年3月31日現在)
- 連結自己資本比率 (国際統一基準) ■ 普通出資等Tier 1比率19.02%  
(平成30年3月31日現在)  
■ Tier 1比率19.02%  
(平成30年3月31日現在)  
■ 総自己資本比率23.50%  
(平成30年3月31日現在)
- 会 員 ■ JA(農協)、JF(漁協)、JForest(森組)およびそれらの連合会、その他の農林水産業者の協同組織等のうち、農林中央金庫に出資している団体。  
(平成30年3月31日現在 3,585団体)
- 従業員数 ■ 3,608人 (平成30年3月31日現在)
- 事業所 ■ 本店…1 ■ 国内支店…19  
■ 分室…1 ■ 営業所…17  
■ 海外支店…3  
■ 海外駐在員事務所…2  
(平成30年3月31日現在)

格 付 (平成30年3月31日現在)

格付機関名	長期債務格付	短期債務格付
S&P社	A	A-1
ムーディーズ社	A1	P-1

本誌には、当金庫の平成30年3月末時点における財務状況および業績に関する実績値のほか、当金庫に関連する見通し、計画、目標等の将来に関する記述が含まれています。これらの将来に関する記述は、経営を取り巻く環境の変化等により異なる結果となりますことをご承知おきください。

本誌では、農業協同組合をJA(農協)またはJA、漁業協同組合をJF(漁協)またはJF、森林組合をJForest(森組)またはJForestとそれぞれ記載しています。

# 目次 Table of contents

## p4 農林中央金庫の 経営戦略

- 5 理事長メッセージ
- 8 本部長メッセージ
- 10 農林中央金庫の取組み
- 20 CSRの取組み

## p21 系統信用事業の現状と 農林中央金庫の役割

- 22 系統組織と系統信用事業
- 26 JA/バンクシステムの運営
- 30 JFマリンバンクの運営
- 32 JForestグループの取組み
- 33 系統人材の育成・能力開発強化
- 34 系統セーフティネット

## p36 自己資本と リスク管理の状況

- 37 自己資本の状況
- 38 農林中央金庫のリスクマネジメント

## p45 経営管理システム

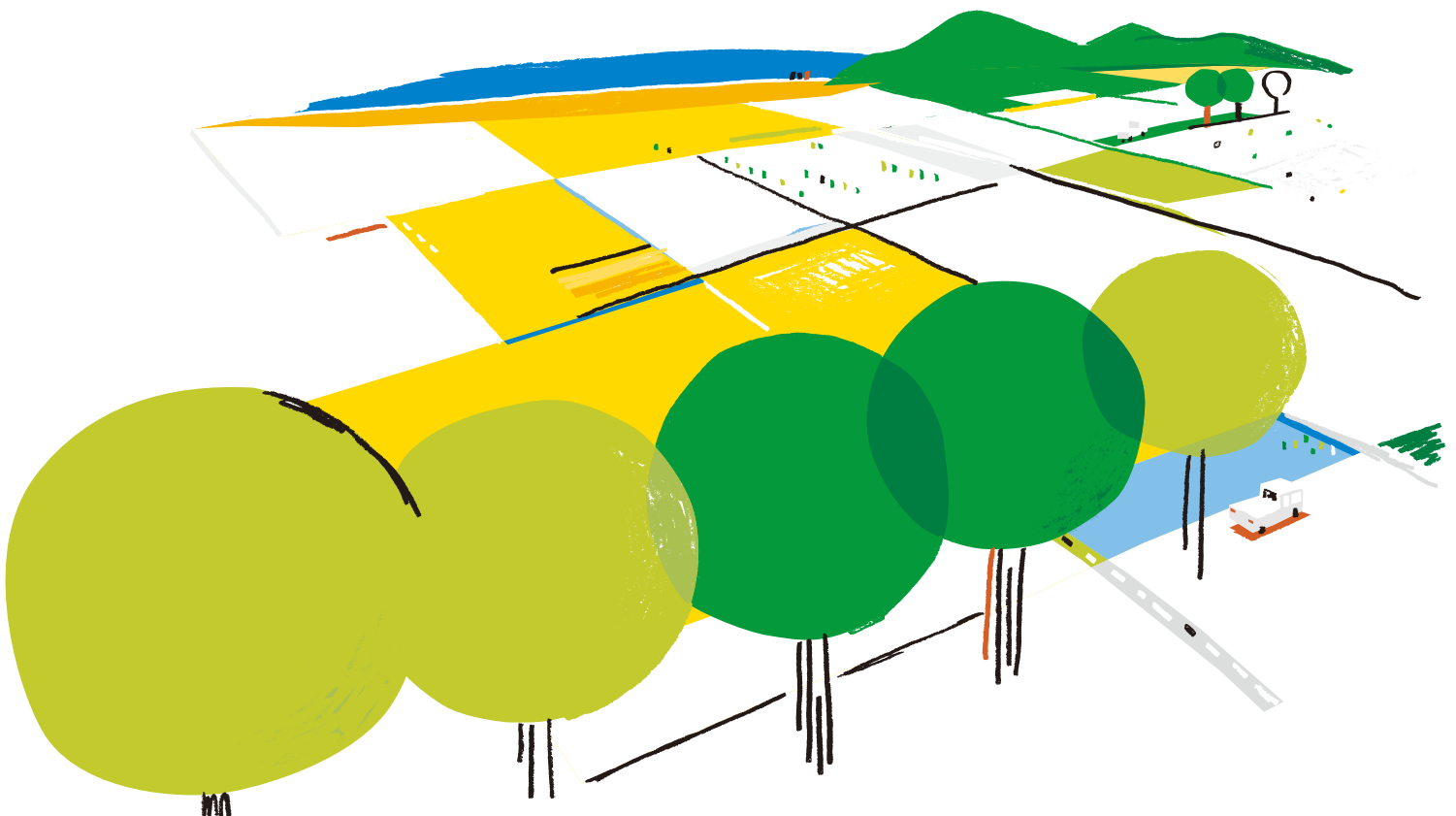
- 46 経営体制(コーポレートガバナンス)について
- 47 内部統制強化への取組み
- 50 内部監査体制
- 52 社会に信頼される金融機関であり続けるために
- 56 情報セキュリティの取組み
- 57 質の高い人財形成と組織活力の向上

## p59 主要な業務のご案内

- 60 主要な業務のご案内
- 64 農林中央金庫のグループ会社

## p67 資料編

- 68 財務データ
- 116 バーゼルⅢデータ
- 197 報酬等に関する開示事項
- 200 内部統制
- 203 コーポレートデータ





みなさまには、平素より当金庫の業務に関し、多大なるご支援等を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、平成29年度の業務実績や、JAバンク、JFマリンバンク、JForestグループの概況等を説明したディスクロージャー誌を発行いたしましたので、ご一読いただきたく、お願い申し上げます。

## 協同組織中央機関として果たす基本的役割

当金庫は、農林水産業者の協同組織を基盤とする全国金融機関として、金融の円滑化を通じて農林水産業の発展に寄与し、もって国民経済の発展に資することを目的としています。この目的を果たすため、JA(農協)、JF(漁協)、JForest(森組)等からの出資およびJAバンク、JFマリンバンクの安定的な資金調達基盤を背景に、会員、農林水産業者、農林水産業に関連する企業等への貸出を行うとともに、国内外で多様な投融資を行い、資金の効率運用を図り、会員への安定的な収益還元に努めています。

さらに、JA(農協)、JF(漁協)の信用事業(系統信用事業)をサポートするための施策の企画・展開や、人材育成、業務インフラの提供等、さまざまなサービスを提供しています。また、関係法令等に基づき、系統信用事業における指導業務も担っており、JAバンク、JFマリンバンクのセーフティネット構築とその運営に努めています。引き続き、系統信用事業の信頼性向上に取り組むとともに、系統信用事業の強化・拡大を実現する重要な役割を担ってまいります。

## 「中期経営計画(平成28～30年度)」の運営

当金庫・系統を取り巻く環境は、TPP等の進展、国際金融規制の強化等、厳しさを増している一方、農林水産業の成長産業化等に対する社会の関心・期待はかつてないほど大きく高まっております。

こうした当金庫・系統を取り巻く経営環境や、当金庫の基本的役割等を踏まえまして、平成28年度から3年間の経営・業務運営方針となる「中期経営計画(平成28～30年度)」を策定し、それに基づく業務運営に取り組んでおります。

JAバンク、JFマリンバンク、JForestグループおよび当金庫は、今後とも、協同組合ならではの役割・機能を発揮しつつ、みなさまから安心・信頼される金融機関・組織を目指していくとともに、農林水産業・農山漁村の振興に貢献する取組みを進めてまいります。

最後になりますが、JAバンク、JFマリンバンク、JForestグループおよび当金庫を、これまで以上にお引き立て賜りますよう、お願い申し上げます。

平成30年7月

農林中央金庫  
経営管理委員会会長

農林中央金庫  
代表理事専務

中家 徹 奥 和登